

「楽しい&エコ」な暮らし、いっしょにはじめましょ♪



季刊

エコびと

第7号 2012. 5月

特集：前&新「eco-T事務局長」
インタビュー



会員突撃インタビュー(皆本直樹さん)

とよたのまちネタ紹介(とよたのソウルフード！？登場です)

このミニ冊子は持続可能で豊かな地域社会（エコライフとよた）の実現を目指す
NPO 法人とよたエコ人プロジェクトひとが発行しています

特集：前&新「eco-T 事務局長」インタビュー

6月に開館5周年を迎え、施設利用&一般来館を再開する、豊田市環境学習施設 eco-T（エコット）。今年度は事務局長のバトンタッチもあり、新たなスタートを切ります。この機会に、前&新「eco-T 事務局長」のeco-Tの運営への思いを聞き出しました。

インタビューア－：谷口功（椋山女学園大学准教授） 記録：小泉達也

谷口功：eco-T と他の学習施設の違いは何ですか？

坂本竜児（前 eco-T 事務局長）：eco-T の大きな特徴は、市民（インタープリター）が市民に伝えることです。市民主体だからこそ、「ちょっと寄っていきん」ということになります。専門用語ではなく、近所の人が普通の言葉で伝える。だから伝わるんです。

谷口：「専門性の高さ」とは違う基準で勝負しているんですね。ところで、インタープリターってそもそも何ですか？

松浦貴子（新 eco-T 事務局長）：来館者の疑問や悩みを一緒に考える人です。一緒にサイコロをふって、すごろくで遊んでくれる人、というか。坂本さんに一度、聞いてみたかったんですが、第一期育成講座の開催前に持っていたイメージと、実際のインタープリターとの間に、何かズレを感じていますか？

坂本：平日の昼間にボランティア活動できる人が必要だったので、最初から主婦やOB世代だと思っていました。「誰でもできますよ」でスタートしているし、特別な人を求めています。ただし、「マニュアル通りに説明する活動じゃない」、ということは最初の育成講座のときから言ってきたし、今までずっと続けてきました。

谷口：初めてeco-Tに来たとき、主婦やOBによる案内が新鮮でした。「ようこそeco-Tへ」という雰囲気、驚きました。インタープリターはなぜ、活動を継続していると思いますか？

松浦：「くせになる」と言う人がいます。例えば、小学校への出前授業は、刺激的です。教壇というステージに立てる、子どもたちの視線を浴びる・・・そういう人もいます。少なくとも「何か伝えたい」という気持ちがあります。とくに男性は、そういう気持ちが強いように感じます。



坂本：eco-T では、人づくりとしくみづくりを同時に進めるようにしてきました。こういう活動ができたらいいなというのが見えてきたときに、希望者と学習を重ね、しくみや場づくりを並行して進めます。施設の案内だけというスタートから、やれる人・やりたい人が学校の授業を担当したり、地域の活動に入っていきます。

谷口：自然観察の森と eco-T の関係はどうですか。一般的に環境問題というとき、自然系と生活系の2つがあるように思いますが。

坂本：森や川での活動は暮らしの中では非日常。eco-T は日常のくらしを対象にしています。ハレとケの違いというか。日常の環境活動と言ったとき、こまめにスイッチを消しましょうとか、ごみを分別しましょうとか、目先のことばかりになりがちです。そうじゃないところ、ありとあらゆる日常のくらしというか、大量生産・大量消費・大量廃棄・大量リサイクル型社会というか、根本を考えられるようにと思っています。

谷口：行政ができないことは何か、を NPO は意識する必要がありますね。下請けにならず、地縁組織だけではできないような活動を。

小泉：行政や市民との関係で、心掛けていることは何ですか。

坂本：2枚舌を使います(笑)。市民相手の場合には行政をほめたり、けなしたり。行政相手には、市民をほめたり、けなしたり。事務局

が間に入って、市民と行政が直接向き合わないでやってきたことが、結果的にうまくいっていると思います。

谷口：それがコーディネーターの役割ですね。

坂本：パートナーシップとか、対話とか、市民と行政は対等だという言葉がいろいろ出てきました。でも実際には、1：1、○か×かでは折り合いがつきません。そこにコーディネーターが入って、妥協点を探るといふか、方程式を解くような感じです。

谷口：行政との関係で言うと、eco-T は委託事業。他所では指定管理でやっている場合が多いですね。

坂本：結果的に、委託で良かったです。指定管理の場合、行政は監督だけになる恐れがあります。委託の場合は、行政もNPOもプレーヤー。お互いにやりたいことを出し合って、それぞれが考えて、一緒に考えて、役割は違おうが一緒にやっていく。相互作用ができます。

小泉：eco-T 事務局長の喜びは何ですか？

坂本：やりがいです。全てを引き受けてやっていける。何をやるにも初めてで、誰もやったことがない。地域や学校にとって何が必要かを考えて、やってみる。うまくいけば育てればいいし、失敗なら見直すか、やめます。発明家や実験好きな理科の先生の喜びに似ているかもしれません。

谷口：新事務局長として、松浦さんが大切にしたいことは何ですか？

松浦：市民と行政の間を取り持つ役割は、これまでと同じで大事にしたいです。それから、事務局の疲弊を避けたい。事務局一人ひとりの幸せも大事にするといふか、やりがいを持って仕事できるように。そのためには、行政や市民の下請けになってはダメだと思います。もう一つ、来館者の顔を思い浮かべて、インタープリターとともにサービスの向上を図りたいと考えています。

「クルマの未来について」の県民意見交換会



2月28日（水）、とよた市民活動センターで、愛知県の事業「クルマの未来についての県民意見交換会」が開催されました。開催にあたって、エコ人は、地元の方々へのお知らせや会場との調整といった協力をさせていただきました。県庁の担当者は、以前にNPO・ボランティア活動の推進部署にいたこともあり、公私ともにお世話になっている方でしたので、この機会に恩返しできるといいなと思いました。



内容は、「あいち自動車産業イノベーションプラン」に関する説明とグループ討論。参加者28名で、「環境」、「産業」、「安全」、「交通」の4テーマに分かれて、それぞれ話し合ったことを発表しました。

車は、移動、まちづくり、産業（雇用）、経済といろいろな面で必要不可欠。車の価値を改めて考える時間になりました。（坂本竜児）

今年も、緑のカーテンの季節がやってきました

エコ人の『緑のカーテン』の活動が、2年目を迎えました。昨年は初挑戦ということで、「とにかくやってみよう！」という感じでしたが、今年は昨年の経験をもとに、「広める♪」をテーマに活動することになりました。



実行委員 14 名で、1月下旬から話し合いを重ねて、年度計画を少しずつ具体化してきました。5月12日(土)には、eco-Tでの実践分を設置。今年はeco-T玄関に続く歩道に「緑のトンネル」をつくりました。「来館者の方々に、涼しさや楽しさを“直接”体感してもらおう」というねらいがあります。きゅうり栽培に使うアーチパイプを使ってトンネルをつくり、その上にネットを取付け、ゴーヤ、フウセンカズラ、カボチャ（坊ちゃん&観賞用）、マンデビラ（つる性で華やかな花が咲きます）を植えました。昨年に比べて種類も本数も減らしたので、少しスッキリした感じに育つと思います。



5月20日(日)には、昨年度に引き続いて西山公園で「育て方講習会」を開催。講師は今年も「緑の相談員」の谷澤隆さん。参加者は定員いっぱいの30名。「知らないことだらけで、こんな講習会があ



って本当に良かった」との感想をいただく等、大好評でした。

緑のカーテンのPRは、6月3日（日）エコットフェスタ等でも実施します。「楽しそうだからやってみよう♪」と、気軽に取り組んでいただけたら嬉しいです。（緑のカーテン実行委員会）

*** *** *** *** *** ***

「緑のカーテン」フラワーマルシェで初講演



2月13日（月）の午後、名古屋市千種区にある吹上ホールで開催された、お花のイベント「フラワーマルシェ」の特設ステージで、講演をしました。タイトルは、「やってみよう！緑のカーテン」です。“講演”と書くと難しそうに感じますが、実際はとってもやわらか〜い(?)内容でした。そもそも私たちは“素人”なので、専門的なお話なんてできません。

昨年の私たちの実践（試行錯誤?）の様子をスライドで映し、植物を育てる喜びを“疑似体験”していただいた後で、私たちの工夫や成功・失敗談をありのままにお話しました。私の話に笑顔で「うん、うん」とうなづいてくださったおばさま方が何人かいらっしゃったので、気持ちよく話ことができました。（聞き上手って素晴らしいですね〜♪）

聞いてくださった方には、フウセンカズラのタネ付き「オリジナル・ミニ冊子」をお渡ししました。フウセンカズラは、葉も、花も、フウセン型の実も、白黒模様のタネも、ぜ〜んぶやさしい感じで、なんだか“癒し系”です。（タネの模様はハート形♪）（小泉達也）

五平餅を豊田のソウルフードに！

とよたのまちネタ紹介 第6回

「とよた五平餅学会」は、豊田市内の五平餅を扱っているお店 55 店舗を会員として、平成 22 年 1 月に設立された団体です。形や味など土地によって個性はありますが、この地域の食文化として伝えられ、親しまれてきた五平餅を、豊田の市民食・ソウルフードとして位置付け、「とよた五平餅」をブランドとして発信し、食文化や地域を見直すきっかけとなる事、また、次世代に広げ育てようとの思いで立ち上がりました。

とよた五平餅の特徴は、地元で採れた原材料を使うこと。お米は、豊田市で栽培された「ミネアサヒ」「ミネヒビキ」など。愛知県産大豆「フクユタカ」を原料として豊田市でつくられた「味噌だれ」を使い、「ほせ」と呼ばれる木の板にも地元の間伐材を使っています。

学会の活動は、豊田市内の五平餅店などを紹介する地図やホームページの作成、クルマの形をしたオリジナル五平餅のイベントでの販売などです。五平餅にちなんだタレやお菓子の開発などもしてきました。活動は年々増え、最初は戸惑うことも多かったのですが、出店者の皆様はさすがプロの方々。多くのイベントを難なくこなしていきました。今では、豊田スタジアムでのサッカー開催時に観光ブースとともに出店をしたり、市内外でのPRも増えてきました。



今年3月には、豊田市中心市街地のイベント「とよたまちパワーフェスタ 2012 スプリング」の中で、近隣県との連携により、「第1回五平餅サミット」を開催しました。多くの来場者を迎え、各地区の五平餅の食べ比べや手づくり体験、意見交換などを行いました。



今後の活動の中心になりそうなのが「五平餅づくり体験」です。昨年度も近隣の中学校で行いました。生徒だけでなく、先生も一緒に、ご飯をつぶす作業から串につけて焼く作業まで、自分で体験する授業です。最近では、地域のサッカークラブや小学校での体験も実施しています。誰もが楽しそうにつくり、口の周りにいっぱい味噌をつけながら友達と仲良く食べていました。

この活動が大きな広がりを持ってくれることを目標に、今後も活動を継続していきたいと思います。

(稲石大輔：とよた五平餅学会事務局)

とよた五平餅学会ホームページ
<http://www.toyota-go-hey.jp/>
五平餅のつくり方も載ってます♪

人生、楽しんで生きよう！

会員突撃インタビュー（第6回）



今回のゲストは、
みなもとなおき
皆本直樹さん。今年度は、eco-T のインタープリターとしても、活動を再開されています。

Q. 先ずはじめに、皆本さんの趣味はなんですか？

A. 40 年続けているソフトボールです。守備は外野のセンター。毎週日曜日に早朝練習しています。町内の 4 チームでリーグ戦もあります。練習や試合のとき、無心になれるのがいいですね。健康管理にもなり、足腰の調子もいいです。

それから、写真も 20 年間続けています。四季折々の自然の写真を撮影します。自然の、ありのままの姿を写すようにしています。

気に入った写真は A4 サイズに引き延ばして、自宅に飾っています。今年は孫の出産で梅の撮影にはいけませんでした。とくに梅と桜にはまっていて、桜なら飯田の駒つなぎの桜からその周辺など・・・と、撮影ポイントを記した地図も作っています。温泉に入ったりしながら、夫婦で撮影旅行に行きます。お勧めスポットは、田貫湖の国民休暇村から眺める富士山。素晴らしい景色ですよ。

Q. 最近、心に響いたことや感動したことを教えてください。

A. 年を重ねるごとに感動することは少なくなってきましたが、心の痛むことは多くなりました。3・11 の東日本大震災以降、原発に関する政府の報道には憤りを感じています。当時の総理大臣、菅さんは大学の一年後輩。私の学生当時は、昭和 40 年～44 年安保・

羽田闘争に象徴される大学紛争の時代で、社会を自分たちで変えようという熱気に満ちていました。

それから、孫を見ていると日々の成長も著しく、この子たちに明るい未来を残せるのか・・・との思いもあり、環境問題を正しく伝えていきたいとの思いが強くなります。実際に、消費生活アドバイザーや省エネルギー普及指導員の活動で、地元の若園小学校3年生に「くらしかた」の出前授業をしたこともあります。

Q. 皆本さんが、ほっと一息つける場所は？

A. 長野県などへ出かけて、美しい風景を見て、無になって写真を撮り、美味しいものを食べる時。ビジネスホテルなどに泊まり、夕飯は近くのスーパーで地場の物を買って、地酒を飲む。安くて美味しいものを探すのが好きです。

Q. eco-T やエコ人に、ひとことお願いします。

A. eco-T とエコ人を結び付けてPRする方法を探していくといいと思います。エコ人のHPからeco-TのHPへリンクを貼ったり、逆にeco-Tからエコ人へ繋げるとか。eco-Tと結び付けることにより、エコ人を普通の人にも分かってもらいやすくなる。エコライフ倶楽部とeco-Tの関係も、繋げてはどうかと思います。

それから、個々の活動を通じて、エコ人の活動に協力してくれるスポンサーを見つけること。今後、スポンサーを見つけるためにもeco-Tや他との関係性を明確にしていく必要があると思います。そして、eco-Tのボランティアは、特技を生かして、地域で活動すると思います。

(会員突撃チーム：野武審・岩月桂子)

消費生活アドバイザー、省エネルギー普及指導員、省エネ家電コンシェルジュなどの肩書を持ち、子どもたちへの思いを持って活動を続けられている皆本さん。「どんな風に生きようと、それみな人生。同じ人生なら、その場その場で楽しんで生きて行こう」との言葉に、日々を楽しんで活動していらっしゃるのが伝わってきました。

●主な活動記録一覧（1/1～5/31）

1月

- 5日 eco-T 仕事始め
- 13日 eco-T 運営会議
- 14日 とよたエコ人プロジェクト新年会（穂がらか）
- 16日 木質バイオマスの利活用懇話会（パネリスト）
- 16日 平成 23 年度展示製作ワークショップ 新展示発表会
- 22日 かえっこバザール開催（ナゴヤハウジングセンターにて）
- 31日 第 32 回（2011 年度 8 回）理事会

2月

- 8日 クルマの未来についての県民意見交換会（開催協力） → P.5 参照
- 9日 第6期展示解説ボランティア育成講座 修了式
- 10日 eco-T 運営会議
- 13日 フラワーマルシェ 2012 にて緑のカーテン講演（吹上ホール） → P.7 参照
- 14日 愛知県環境学習施設等連絡協議会
- 18日 環境省コンソーシアム事業全国大会&低炭素杯視察（19日も）
- 25日 とよたこどもエコクラブ 交流発表会
- 28日 第 33 回（2011 年度 9 回）理事会

3月

- 2日 環境学習リーダー養成講座にて環境教育の講義（崇化館交流館）
- 3日 eco-T 市民会議
- 4日 交通安全学習センター イベント出展
- 9日 eco-T 運営会議
- 22日 とよたエコドライブプロジェクト総会（活動終了）
- 27日 第 34 回（2011 年度 10 回）理事会

4月

- 4日 eco-T24 年度事業計画説明会（5 日も）
- 8日 eco-T 拡大運営会議
- 23日 とよた・あいち省エネで元気な事業所コンソーシアム会議
- 24日 第35回（2011年度11回）理事会
- 26日 豊田市内公共施設視察（eco-T 新人研修）
すげの里&自然観察の森&産業とくらし発見館

5月

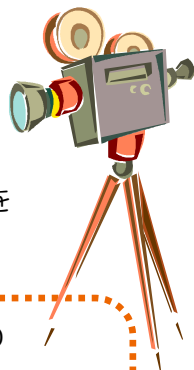
- 6日 eco-T 運営会議
- 12日 eco-T「緑のカーテン（緑のトンネル）」設置 → P.6 参照
- 12日 とよたハウジングガーデン イベント出展
- 20日 緑のカーテン育て方講習会（西山公園） → P.6 参照
- 22日 第36回（2011年度12回）理事会
- 27日 緑のカーテンPR（自然観察の森）

いろいろ“オープン&スタート”情報

- ・4月28日 とよたハウジングガーデン オープン
- ・5月18日 とよたエコフルタウン オープン
- ・6月1日 eco-T 施設利用&一般来館再開
エコットの利用ガイドブックがリニューアルされました♪
- ・豊田市環境学習サイトが開設されました♪
私たちのごみのゆくえ (<http://toyota-gomi.com/>)
学校の授業にも活用できます
hibico（ひびこ） (<http://toyota-hibico.com/>)
子育てに役立つエコなヒントが満載です



第4回総会&映画上映会のお知らせ



7月21日(日)に、エコ人の第4回総会を開催します。
今年は、映画上映会とセットで行います。上映後、映画を見て感じたことを、一緒に語り合しましょう。

日時 : 平成24年7月21日(土) 13:30~17:00

場所 : 豊田福祉センター4階 47&48会議室
(豊田市錦町1-1-1)

プログラム

13:30~14:30 第4回総会

14:50~17:00 映画『幸せの経済学』上映&意見交換会

参加費(映画上映) : 会員300円、一般500円

申込み: 参加者全員の名前、代表者のTELを記入の上、Eメール
(info@t-ecobito.jp) またはFAX(0565-50-5568)にて

映画『幸せの経済学』とは・・・

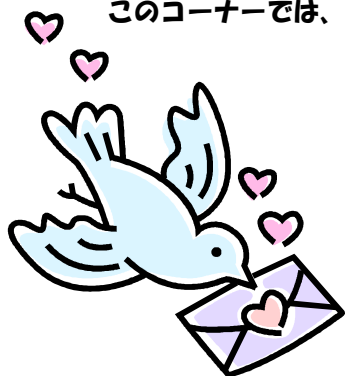
「グローバルからローカルへ」をテーマに、世界中の環境活動家たちがこれからの「豊かな暮らし」について語るドキュメンタリー映画です。

この映画は、開発という名の消費文化に翻弄されるラダックの人びとの姿を追い、世界中の環境活動家たちが「本当の豊かさとは何か」について説いていく内容となっています。民族紛争や異常気象、多様性の損失、失業、アイデンティティの崩壊など、グローバル化の拡大が引き起こす8つの不都合な真実について述べながら、世界各地で発生している問題について取り上げています。監督のヘレナさんは、その解決の糸口として「ローカリゼーション」を提唱し、ローカリゼーションの促進が、切り離されてしまった人と人、人と自然とのつながりを取り戻し、地域社会の絆を強めていくと語ります。

映画『幸せの経済学』HP <http://www.shiawaseno.net/>

みなさんからの郵便コーナー

このコーナーでは、みなさんからの郵便をお待ちしております



「2012年の抱負」のご紹介♪

- ・6期生に負けず、インプリを頑張ります (Hさん)
- ・学校・地域の温暖化学習に積極的に取組みたい (Tさん)

「こんな市長がいいな♪」に、寄せられたご意見

市民の目線で物事を考える市長。

税金の使い方に無駄がないか、しっかり調べて、効率化を進める市長。(外郭団体を減らして欲しい)

一般市民の意見をよく聞いたり、生活を見たりして、今、何が必要なのか知ることが大切。市長が市民を引っ張るのではなく、大勢の意見を参考にして、市民の命と生活を守るため、努力して欲しいと思います。

** ** * * * * * * * * * * * *

いろいろ募集中!

- ・とよたのまちネタ
- ・エコメン(エコなイケメン)情報
- ・その他、みなさんからのご意見・ご感想
- ・季刊誌などのライターさん&編集者
(どなたか、やってみませんか~?)

会員継続のお手続きをお願いします & 新規会員募集中！

6月1日からエコ人の2012年度が始まります。本年度もよろしくお願ひいたします。

**現在の会員数は
53名、1団体です**

正会員	10,000円（議決権あり）
賛助会員	一般 1,000円/口
	学生 500円/口
	営利団体 10,000円/口
	非営利団体 3,000円/口

会員のみなさま(2012年5月25日現在) 囲みは新規会員

- 正会員 石村正行さん、伊吹あゆみさん、岩月桂子さん、河合志郎さん、栗野理絵さん、小泉達也さん、小泉由美さん、小泉洋子さん、後藤康江さん、坂本竜児さん、杉浦清美さん、田上治さん、谷口功さん、谷口陽子さん、種子田寛郎さん、中川恵子さん、長嶋一枝さん、野武審さん、萩原喜之さん、福間陽子さん、伏田治敏さん、松浦貴子さん、南谷五郎さん、山口重春さん
- 賛助会員 青山克巳さん、赤坂洋子さん、芦辺由岐子さん、粟津銀治さん、板倉三枝子さん、井藤伸比古さん、奥村紀美さん、落合ひろ恵さん、加藤由見江さん、神谷ゆう子さん、後藤美代子さん、坂口明子さん、澤田高和さん、山東光子さん、杉浦輝雄さん、種子田雅子さん、法島準子さん、長谷川広一さん、伴在慶一郎さん、本多慶子さん、本田昭二さん、皆本直樹さん、宮島芳枝さん、村井孝一さん、村松里子さん、室武亨さん、安宮勝之さん、山中由紀さん、吉田香さん、特定非営利活動法人中部リサイクル運動市民の会

編集後記 5ヶ月ぶりの季刊誌発行です。この間、3月にエコ人はNPO法人として3才の誕生日を迎えました。そして、6月1日にはeco-Tが5才の誕生日を迎えます（なんだか七五三みたいですね）。いつまでも、よろち歩きとは言いられないなあ・・・（小泉た）

発行・編集 ^{ひと}NPO法人 とよたエコ人プロジェクト

FAX 0565-50-5684

2012年5月発行

メール info@t-ecobito.jp

ブログ <http://blog.canpan.info/eco-bito/> ←緑のカーテンも

連絡先 TEL（スタッフ勤務先） 0565-26-8058

【豊田市環境学習施設 eco-T（エコット）】

エコットのホームページ <http://www.eco-toyota.com/>

私たちは豊田市から委託を受けて、環境学習施設eco-T（エコット）を運営しています